

自己評価結果報告書

令和7年2月26日

山口県障害者支援課長様

所在地 山口県光市室積正木14-3
法人名 特定非営利活動法人 虹のかけ橋
代表者 職 氏名 理事長 岡田 好重

1. 事業所の状況

事業所の名称	虹のかけ橋	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援	
事業所番号	3555400013	
連絡先	TEL	0833-48-9428
	E-mail	nijikakehashi@kvision.ne.jp

2. 取組時期

①保護者による評価	令和6年11月15日～令和6年11月30日
②従業者による評価	令和7年1月20日～令和7年1月27日
③事業所全体による評価	令和7年2月10日～令和7年2月21日
④訪問先施設による評価 ※保育所等訪問支援のみ	年 月 日～年 月 日

3. 公表結果

公表日	令和7年2月28日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ URL : http://nijikake2002.com
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布
	<input type="checkbox"/> その他
	()

担当者	岡田 好重
連絡先 (TEL)	0833-48-9428

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	虹のかけ橋		
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日	~	令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	24	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日	~	令和7年1月27日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	義務化される以前より、「虐待防止委員会」「身体拘束禁止の為の行動支援委員会」「感染防止予防の委員会」（現在、保健厚生委員会）を設置し、年1回以上委員会を開催している。	併せて12の委員会が有、各員会が連携しサービス改善や業務改善の工夫をしている。	前年度から新たに義務化された「安全計画」などに対応する為に委員会を新たに設置し活動を行っている。
2	家庭支援の強化	公認心理士によるカウンセリングを随時希望者に行っている。	今後は、保護者の要望に応じて「心理検査」等を行う予定です。
3	サービス改善等の意見がボトムアップで反映される。	上司へ話しやすい環境が整っている。	毎月行われる、全体会議において経営者と意見交換でき、意見が迅速に反映される。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	単独又は少人数で過ごしたい児童に対してスペースが少ない。	児童の年齢幅が広く過ごし方が違うため。	パーティション等を利用して過ごしやすい環境づくりを行う。
2	地域との交流機会が不足している。		必要とされている交流の方法などを検討していく。
3			

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	虹のかけ橋
------	-------

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 24名 令和6年11月6日

回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1				
	3	生活空間は、こどちにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	11	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	4	1	6		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11			1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	12					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2				
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1		1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		1		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1				
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1				
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1			子の入浴済りの原因はなんであるか分からず子の気持ちや意見が親もうまくみ取れてない為に、どちらを選びました。	今後も安心して通所していただけることを大事に考えています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			利用する日をいつも楽しみにしています。	今後も楽しくて通所していただけるよう尽力します。
	29 事業所の支援に満足していますか。	12					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		虹のかけ橋				公表日 令和7年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		定員に対し適切なスペースを確保できている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		配置基準より2名以上多く保育士や児童指導員を配置している。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		部屋を目的別に仕切る等環境整備を行っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		掃除や消毒を行い清潔で快適に過ごせるように努めている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個室はない。	もう少し部屋を分けてもいいのかもしれない。スペースの確保に努めているが個室ではないため、一人で過ごしたい子の対応に苦慮する点はある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		月2回程度ミーティングを行い振り返りを行っているが、いつも全員の参加があるわけではない。	時間の制約があるので、中途半端な形で終わってしまう。今後は効率的にミーティングを行う。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	役員がアドバイザーとしてミーティングに参加している。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		毎月各委員会の報告や研修がある。	全員が参加できていない。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	8	5領域や発達段階に合わせた話し合いは行っているが、公表できていない。	今年度中に公表できるようにしていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			それぞれのスタッフが怠慢なく話し合える場になっていると思う。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		フォーマルな評価については新しいツールも検討中。	
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10				
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10				

	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			時間がなくて、できなかつた時は次の日に実施し共有している。
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10			地域交流についてはコロナ禍以降、消極的になっている。
24	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			児童発達支援管理責任者が参加している。
関係機関や保護者との連携	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		関係機関と連携している。
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	6	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	7	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		希望者には家族支援を行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	運営規定に関しては保護者が自由に閲覧できるようにファイル化して設置している。
保護者への説明等	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		契約時に契約書や重要事項説明書の内容について、丁寧に説明している。
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		保護者の意向やニーズや子供の意思等を尊重し適切な支援計画を作成している。
	38	施設への来所をお願いし、説明・同意を得ている。	9	1	
	39	随時個人面談に応じている。	10		
	40	定期的に保護者会を開催している。その際、親の会と繋げるようにしている。	10		
	41	随時個人面談に応じている。	10		

	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		ライン連絡している。又、毎月広報誌を発行している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		個人面談等で意思疎通を図っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10			年1回の創業祭「虹まつり」を開催して、利用者・家族、地域の住民や企業のボランティアのを招待している。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		火災避難訓練、津波避難訓練等を年2回行っている。訓練等については広報誌等で発信している。	
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCP計画策定し研修訓練等を行っている。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		アセスメント等で確認している。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		現在はおやつか提供していないが、家族からの情報を得て配慮している。	
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		今年度はAED研修を行った。	
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		広報誌やホームページ等で周知を図っている。	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		年6回行われるインシデント対応委員会開催後、研修を行っている。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		年1回の虐待防止員会開催後研修を行っている。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		現在においてこのような事例はない。	